

令和3年5月15日

鳥栖高等学校・香楠中学校 保護者 様

佐賀県立鳥栖高等学校
佐賀県立香楠中学校
校長 松雪 誉

大雨等緊急時の登校について（お知らせ）

本校では、大雨等緊急時の登校について、原則として、下記の対応をとりますのでお知らせします。

記

1. 各気象警報・注意報発令時の対応

(1) 「注意報」発令時

安全に登校できることを確認した上で登校してください。安全に登校することが難しいと判断される場合は、*自宅で待機してください。

(2) 「警報」発令時

(ア) 大雨、大雪警報の場合

気象情報、地域の状況を考慮し、安全に登校できることを確認した上で登校してください。安全に登校することが難しいと判断される場合は、*自宅で待機してください。なお、休校、始業時刻の遅延等の対応をとる場合は午前6時前後に「スクールNEWS」で連絡します。

(イ) 暴風警報の場合

自宅で待機してください。午前6時前後に「スクールNEWS」で休校等の連絡を行います。

(3) 「特別警報（大雨、大雪）」発令時

自宅で待機してください。地域の状況を判断し、命を守るための最善の行動をとってください。

(4) 「Jアラート」発令時・「地震」発生時

安全な場所に避難してください。可能ならば*学校に連絡してください。

2. その他

- (1) 鳥栖市に「避難指示」が発令された場合は、原則、休校とします。
 - (2) 気象警報等が発令されておらず、学校からの指示がない場合も、安全を第一に考えて登校の判断をしてください。安全に登校できるまで*自宅で待機してください。
 - (3) 登校時にJR、バス等が運休しているときは*自宅で待機してください。
 - (4) 登校は可能であるが、下校が難しいと判断される場合も*自宅で待機してください。
 - (5) 上記の中の「*自宅で待機」する場合、「*学校に連絡」する場合は、学校ホームページの下記「**災害時緊急連絡フォーム**」でご連絡ください。
緊急時は電話が殺到し、繋がりませんのでこのフォームからご連絡ください。
- [災害時緊急連絡フォーム](#) [GOTO >](#)
- (6) 上記の事情により自宅待機されても欠席、遅刻等とはしません。
 - (7) 内閣府（防災担当）・消防庁から「避難指示で必ず避難 避難勧告は廃止です」のチラシ（次ページ以降）がきています。ご覧になり災害への対策をお願いいたします。

担当

佐賀県立鳥栖高等学校 教頭

佐賀県立香楠中学校 副校長

0942-83-2211

令和3年5月20日から

警戒レベル

4

ひなんしじ 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確認に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**

避難勧告は廃止されます。  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示**で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

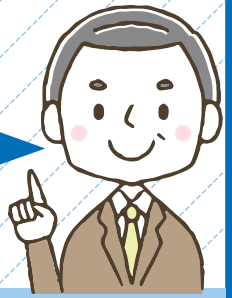
避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難**で  
危険な場所から避難  
しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁



ひなん  
「避難」って  
何すれば  
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけ  
が避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



### 行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等



### 安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難  
することを相談して  
おきましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。

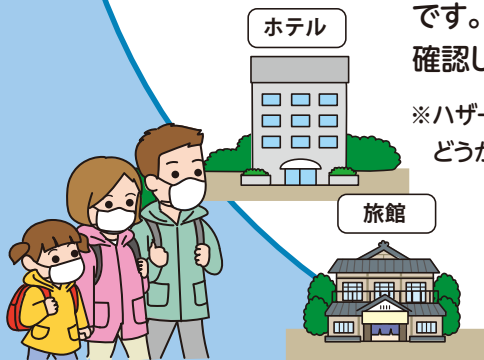


普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

### 安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要  
です。事前に予約・  
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



### 屋内安全確保

ハザードマップで以下の  
「3つの条件」を確認し  
自宅にいても大丈夫かを  
確認することが必要です。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある  
区域では立退き避難が  
原則です。

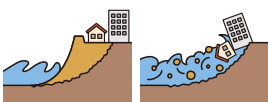


「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります



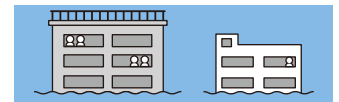
地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満(1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、  
水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。